

平成29年度
第1回 三重県感染対策支援ネットワーク研修会
講演1

医療機関における感染対策の取り組み ～現状と課題～

市立四日市病院 ICD
呼吸器内科 池田拓也
平成29年7月9日

アンケート調査

期間: 5月10日～5月31日
対象: 三重県内 35施設に依頼
方法: メールで依頼
内容: 医師個人対象のアンケート
施設対象のアンケート
結果: 回答 23施設 (66%)
医師からの回答 44名

本日の内容

- 1) 感染防止対策加算について
- 2) アンケート結果
- 3) 感染対策における医師の役割
- 4) 今後の展望

診療報酬における感染対策の評価

1996年 院内感染防止対策加算	5点
2000年 減算	
2006年 医療安全対策加算に含まれる	50点
2010年 感染防止対策加算(ICT)	100点
2012年 感染防止対策加算 1	400点
感染防止対策加算 2	100点
感染防止対策地域連携加算	100点
2014年 改訂(JANISなど)	
2016年 改訂(ラウンド)	

感染防止対策加算
感染制御チームの組織

感染防止対策加算1

経験	職種
3年以上	専任の医師
5年以上	専任の看護師
3年以上	専任の薬剤師
3年以上	専任の臨床検査技師

医師または看護師が
専従であること

感染防止対策加算2

経験	
3年以上	専任の医師
5年以上	専任の看護師
3年以上	専任の薬剤師
3年以上	専任の臨床検査技師

専従は業務のうち80%以上 専任は50%以上 ??

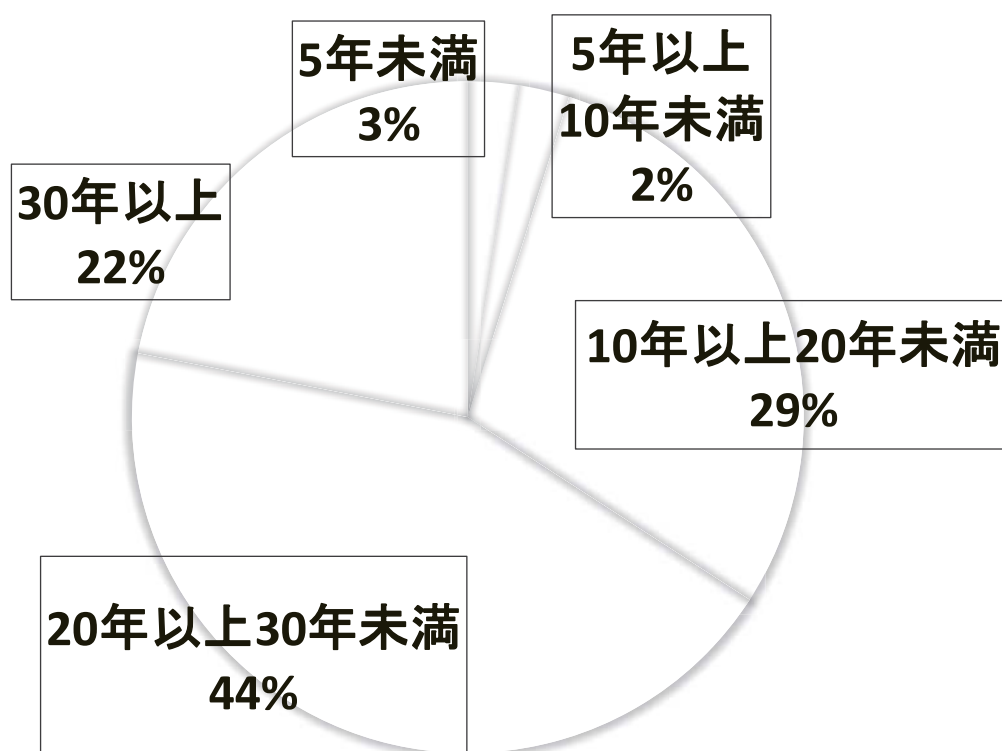
アンケート

- 1) あなたは、専従・専任・兼任のいずれですか？
- 2) あなたの医師経験年数、性別は？
- 3) あなたの主たる診療科は？
- 4) あなたの全仕事量に対する感染制御の実働時間は？
- 5) あなたのICTラウンドへの参加頻度は？
- 6) あなたのICT ミーティング(毎週)への参加頻度は？
- 7) 学会活動、資格など
- 8) 医師として、ICT活動の現状に対するご意見があればお願いします。

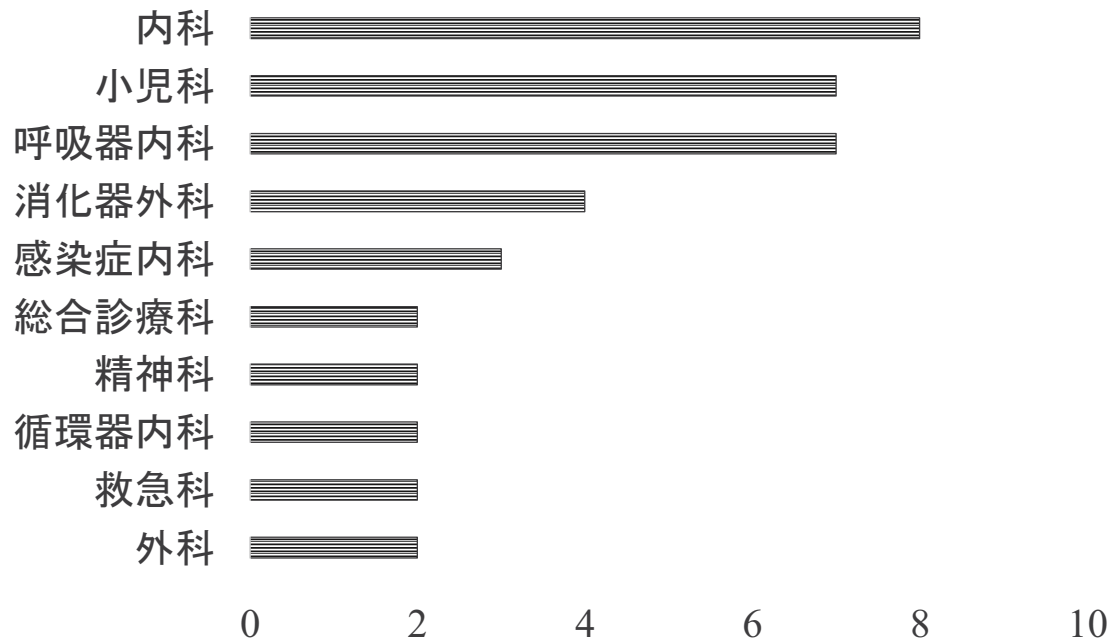
あなたは、専従・専任・兼任のいずれですか？

専従	0名	
専任	23名	1施設につき0-3名
兼任	21名	1施設につき0-10名

あなたの医師経験年数、性別は？



あなたの主たる診療科は？

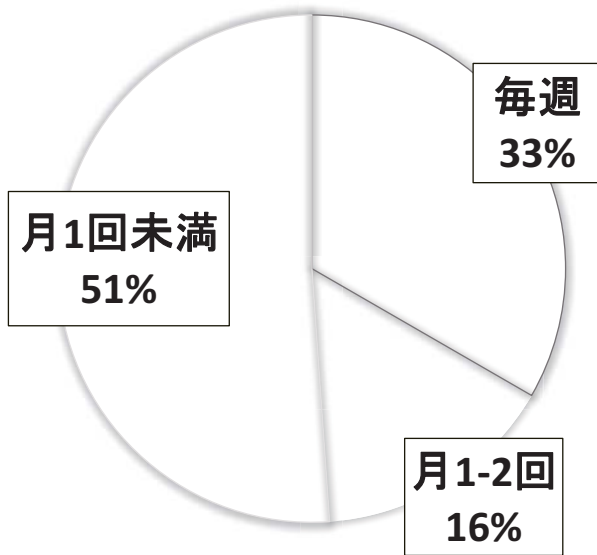


血液内科、呼吸器外科、小児外科、消化器内科、泌尿器科、病理診断科 は各1名

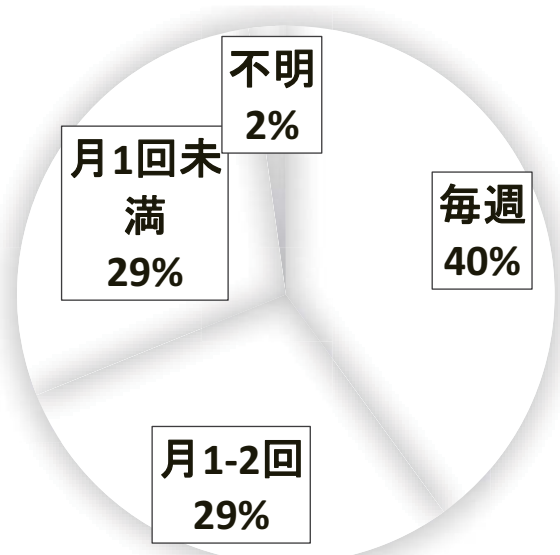
あなたの全仕事量に対する感染制御の実働時間は？

- 全仕事量の20%未満
- 全仕事量の20-50%
- 全仕事量の50-80%
- 全仕事量の80%以上

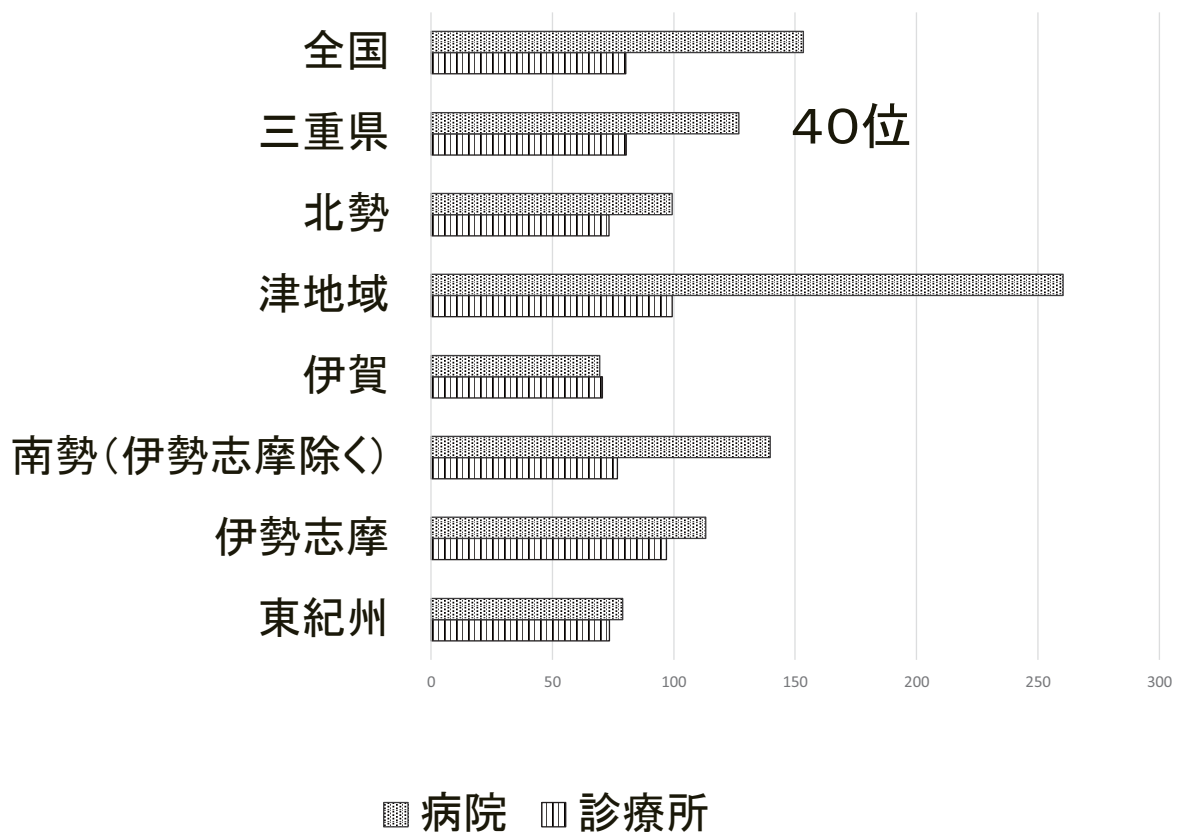
あなたのICTラウンドへの参加頻度は？



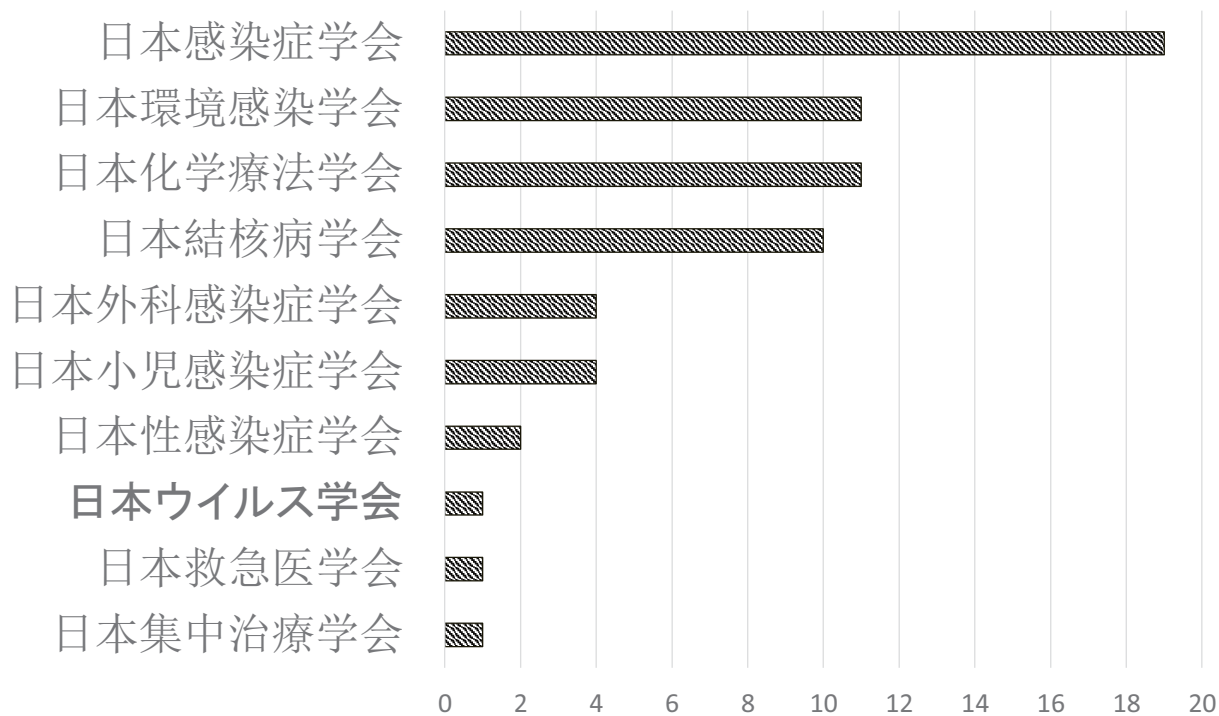
あなたのICTミーティング(毎週)への参加頻度は？



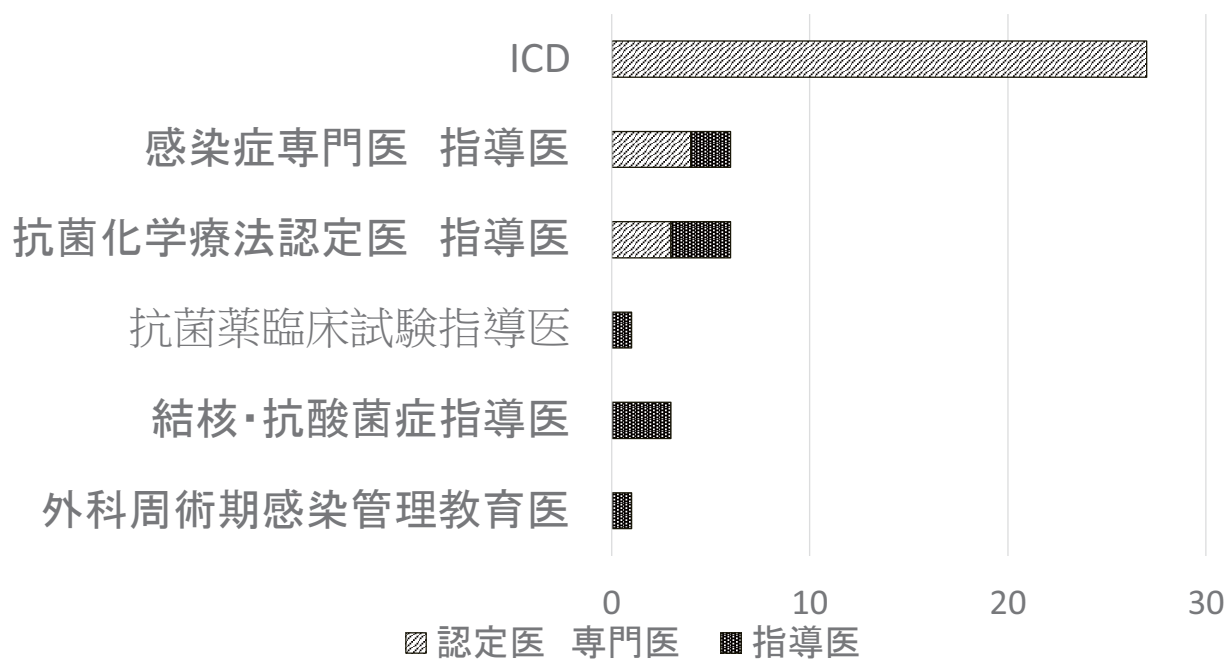
人口あたりの医師数



学会活動 感染に関連のある学会



資格



ICDの役割

ICD協議会のホームページ

- a) 病院感染の実態調査(サーベイランス)
- b) 病院感染対策の立案と実施
- c) 対策の評価および対策の見直し
- d) 職員の教育・啓発
- e) 病院感染多発(アウトブレイク)時の対応
- f) 伝染性感染症発症時の対応

トータルマネージメント

医師として、ICT活動の現状に対するご意見があれば
お願いします。

- 1) 今後とも勉強させていただきますので、宜しくお願いします。
ご指導お願いします
- 2) 日常業務との2足のわらじでは十分活動することは難しい
いろいろ難しい
“ICT以外にも複数の仕事(委員会等)があり十分活動できていな
い他のICDの医師にまかせてしまっている”
兼任は限界がある。ICNの専従(一定以上の規模の病院)が必要
であり、ICNを中心にする体制の強化が必要
- 3) たいそう頑張ってます
頑張ります
- 4) 抗菌薬適正使用の意思統一の難しさを感じる。症例による個別
性や診断困難事例もあり画一的なコントロールは難しい。耐性菌の
比率を知りたい。環境整備や手洗いの徹底が重要であると感じた。

感染管理における医師の役割 今後の課題

ICTとしての取り組みに加え



AS(antimicrobial stewardship)
が求められている

まとめ

- 1) 感染対策に携わっている医師は16と多くの科にわたっており、感染症内科の医師は3名であった。
- 2)多くの医師が ICDの資格をもって活動していた。
- 3)感染対策に対しての時間を作ることがかなり難しいことがうかがえる。
- 4) 今後、抗菌薬適正使用 のために (antimicrobial stewardship)ASの推進も求められている